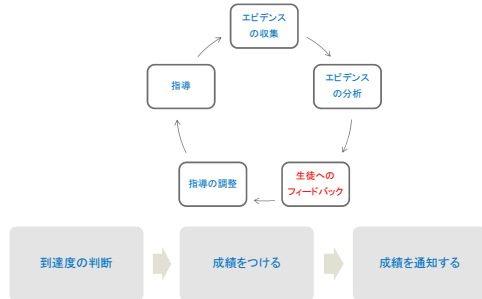


形成的評価から総括的評価へ



授業づくりと形成的評価



では実際にどのような授業づくりができるか、考えてみましょう。

総括的評価課題

エッセイ課題:

授業で学習した2作品について、以下の内容を含んだエッセイを書きなさい。作中から1箇所以上の引用をすること。(2,000字以内)

- a) 人間はどの様に描かれていますか。
- b) 作者は主題を描くためにどのような工夫をしていますか。



総括的評価課題の評価規準

	0	1	2	3	4	5
テキストの内容、文脈、言語、構造、技法、およびスタイル(文体)と、複数のテキスト間の関係性を分析する。	基準に達していない	ほとんど行っていない	いらか行えている	行えている	よく行えている	確立してよく行えている
作者の選択が、受け手に与える効果を分析する。	基準に達していない	ほとんど行っていない	いらか行えている	行えている	よく行えている	確立してよく行えている
例、説明、用語を用いて、意見や考えを正当化する。	基準に達していない	ほとんど行っていない	いらか行えている	行えている	よく行えている	確立してよく行えている
ジャンルやテキストにおいて、または複数のジャンルやテキストにわたって、特徴を関連づけることで、類似点と相違点を評価する。	基準に達していない	ほとんど行っていない	いらか行えている	行えている	よく行えている	確立してよく行えている

学びを育むファシリテーターとしての教師

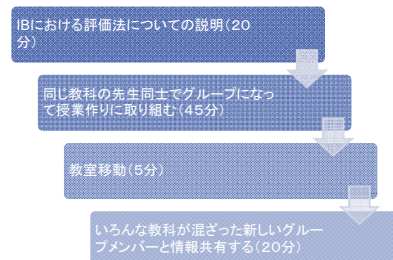
• 学びのプロセスに焦点を合わせる

生徒の焦点を学びのプロセスに向ける課題と指導法を優先的に扱う

• 概念的な理解を現実世界の状況とつなげる

生徒を、なぜ?、いつ?、どのようにしたら分かるのか? どの状況だと当てはまるのか? といった、主軸となる質問形式の問いに参加させる。

分科会の流れ



一、サボテンの花

人間らしさが表れているところを探す

すん劇を演じる

サボテンの生き方を考える

人間とは何か

二、だ

四つの連の役割について意見を述べて者のメッセージを文脈から読みとる

人間らしさ

三、

二つの作は20の共通点とあける

ガールード学習

ペア学習

ひとり

サボテンの花

音読(主題を考える)

人物像
キーワード
理由

だいち

音読(リズム)

描写
キーワード

選んだ作品を~~発表~~発表し合え

どんなつもりでよんだのか

聞いた側がどう感じたか

遠いと共通点

レポート化

サボテンの

花びら

だいち

のつら

やちやち作品

アンパンマン

早のひら

谷川作品

二十億年の孫

導入・サボテンの写真

砂漠

→ (社)

地学

(理)

植物 一水

展開

言語

漢字・言葉の意味

表現技法 (倒置・体端)

擬人 ☆

質問

・「人間はどのように

描かれているか」 ☆

↓

・「他の命を奪って生きることも

どう思うか」

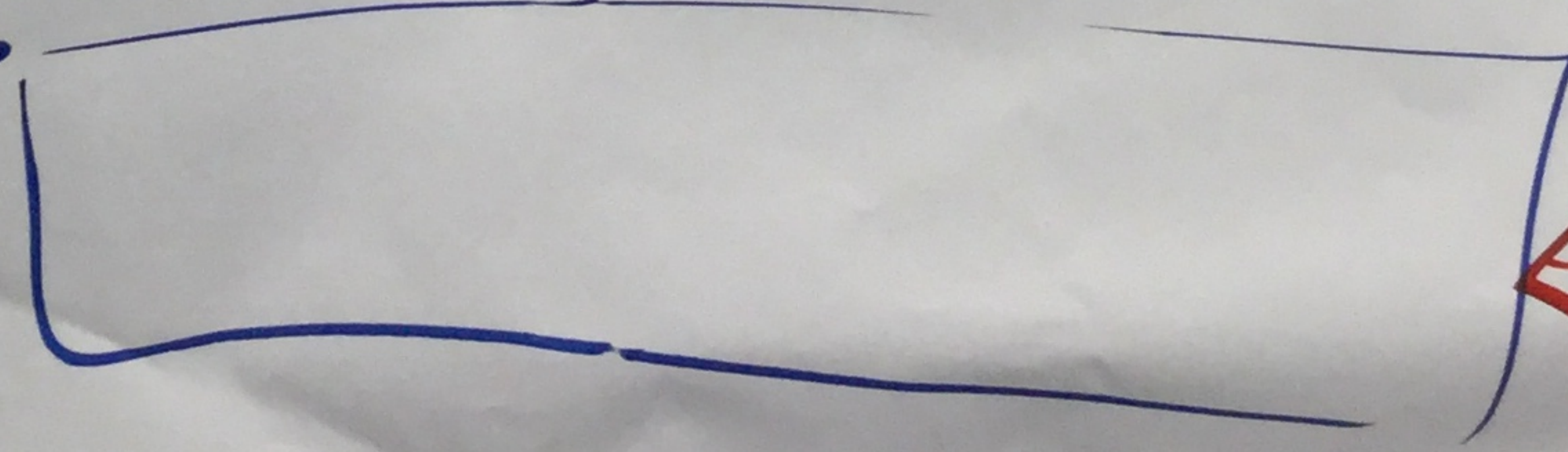
↓

・「生きるとは」

命

討論

エッセイ



← 総括